



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

上場会社名 株式会社日本触媒
 コード番号 4114
 代表者 代表取締役社長 近藤 忠夫
 問合せ先責任者 総務部長 内海 勝議

平成19年8月8日
 上場取引所 東証一部・大証一部
 URL <http://www.shokubai.co.jp/>
 TEL (06) 6223-9111

(百万円未満は四捨五入して表示しております。)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率を示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	72,173	14.5	4,023	△30.4	5,180	△21.7	2,972	△22.3
19年3月期第1四半期	63,029	18.1	5,779	△8.7	6,617	△10.6	3,824	△9.5
19年3月期	266,513	14.7	19,429	△16.4	22,754	△13.0	13,988	△14.0

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	16 16	—
19年3月期第1四半期	20 32	—
19年3月期	74 92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第1四半期	326,834	178,914	53.4	953	71
19年3月期第1四半期	297,645	172,455	56.6	894	65
19年3月期	323,675	179,368	54.1	948	34

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	7,523	△4,482	45	20,063
19年3月期第1四半期	2,426	△6,010	5,952	22,209
19年3月期	16,087	△23,109	4,037	16,991

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前年同期、中間期は対前年中間期増減率を示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	145,000	16.2	9,400	△6.5	10,200	△13.5	6,500	△16.6	35	41
通期	295,000	10.7	20,400	5.0	22,400	△1.6	14,500	3.7	79	09

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有

(注)詳細は5ページの「4. その他」をご覧ください。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成19年5月8日に発表いたしました平成20年3月期に係る当初業績予想では、固定資産の残存簿価（取得価額の5%）に係る減価償却費を特別損失に計上しておりましたが、「減価償却に関する当面の監査上の取扱い（監査・保証実務委員会報告第81号）」に従い、当期の営業費用に計上する処理に変更いたしました。この変更により、連結業績予想は特別損失16億円（中間期：8億円）の計上がなくなり、当期の営業費用が16億円（中間期：8億円）増加いたしますため、営業利益および経常利益で16億円（中間期：8億円）の減少となりますが、当期（中間）純利益は当初予想どおりとなっております。

また、当第1四半期連結業績は概ね順調に推移しており、現時点において中間期および通期の連結業績予想は、減価償却費の計上区分の変更を加味した予想と変更はございません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

[定性的情報・財務諸表等]

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油をはじめとする資源の高騰などの不安定要因はあるものの、企業収益の改善や設備投資の増加などにより、緩やかな拡大基調で推移しました。

化学工業界におきましては、国内外の需要は堅調なものの、原料価格の高騰や国際市況の動向など、先行き不透明なかで推移しました。

(1) 全体の状況

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増 減		前 期
			(金額)	(伸び率)	
売上高	63,029	72,173	9,145	14.5%	266,513
営業利益	5,779	4,023	△1,756	△30.4%	19,429
経常利益	6,617	5,180	△1,437	△21.7%	22,754
四半期(当期)純利益	3,824	2,972	△852	△22.3%	13,988
1株当たり四半期(当期)純利益	20.32円	16.16円	△4.16	△20.5%	74.92円
ROA(総資産経常利益率)	9.0%	6.4%	—	△2.6ポイント	7.4%
ROE(自己資本当期純利益率)	9.2%	6.8%	—	△2.4ポイント	8.2%
為替(\$、EUR)	\$=¥114.50 EUR=¥143.82	\$=¥120.82 EUR=¥162.75		¥6.32 ¥18.93	\$=¥117.00 EUR=¥150.08
ナフサ価格	48,800円/kl	58,000円/kl		9,200円/kl	50,000円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、機能性化学品を中心とした販売数量の拡大や、原料価格の高騰を反映した販売価格の是正などにより、前第1四半期に比べて91億4千5百万円増収(14.5%)の721億7千3百万円となりました。

利益面につきましては、販売数量の拡大や販売価格の是正に努めたものの、原料価格の高騰や設備の増強に伴う減価償却費等の固定費増加、さらには税制改正に伴う減価償却費の増加も影響したため、営業利益は前第1四半期に比べて17億5千6百万円減益(△30.4%)の40億2千3百万円となりました。

経常利益は、営業外損益が技術料収入や持分法による投資利益の増加等により、前第1四半期に比べて3億2千万円改善したものの営業利益の減益が大きかったため、14億3千7百万円減益(△21.7%)の51億8千万円となりました。四半期純利益も、前第1四半期に比べて8億5千2百万円減益(△22.3%)の29億7千2百万円となりました。

(2) セグメント別の概況

◎事業の種類別

[基礎化学品事業]

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、国内外の需要が堅調に推移するなかで、販売数量を伸ばしたことにより、増収となりました。

酸化エチレンおよび高級アルコール(商品名“ソフタノール”)は、需要が堅調に推移し、また、販売価格の是正に努めたことにより、増収となりました。

エチレングリコールは、販売数量は減少したものの、市況が堅調に推移したことにより、ほぼ前第1四半期並みとなりました。

エタノールアミンは、輸出の販売数量が減少したため、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前第1四半期に比べて8.4%増加し、263億6千5百万円となりました。

営業利益は、販売数量の拡大や販売価格の是正に努めたものの、原料価格の高騰や大型設備の増強に伴う固定費増加の影響が大きかったため、前第1四半期に比べて71.3%減少し、6億1百万円となりました。

[機能性化学品事業]

高吸水性樹脂は、世界的に需要が拡大するなかで、引き続き販売数量を増加させ、また販売価格の是正に努めたことにより、増収となりました。

無水マレイン酸は、原料価格高騰のもと、販売価格の是正に努めたことにより、増収となりました。

樹脂改質剤は、国内の需要が順調に推移したことにより、増収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマーは、海外の需要が順調に推移したことにより、増収となりました。

特殊エステルは、国内外の需要が順調に推移し、また、販売価格の是正に努めたことにより、増収となりました。

電子情報材料は、新規製品を中心に販売数量を伸ばしたことにより、増収となりました。

洗剤原料、粘着剤・塗料用樹脂、粘着加工品、よう素化合物、医薬中間原料および不飽和ポリエステル樹脂は、ほぼ前第1四半期並みに推移しました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前第1四半期に比べて19.8%増加し、381億4千6百万円となりました。

営業利益は、原料価格の高騰や設備の増強に伴う固定費の増加があったものの、販売数量の拡大や販売価格の是正により、ほぼ前第1四半期並みの、30億2千9百万円となりました。

[環境・触媒事業]

自動車触媒は、貴金属価格高騰の影響を受けて販売価格が上昇したことにより、増収となりました。

プロセス触媒は、海外の取替需要が堅調に推移したことにより、増収となりました。

脱硝触媒、排ガス処理装置および触媒は、ほぼ前第1四半期並みに推移しました。

排水処理装置および触媒は、当第1四半期に販売がなかったため、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前第1四半期に比べて11.8%増加し、76億6千2百万円となりました。

営業利益は、原料価格高騰と販売構成のため、前第1四半期に比べて27.0%減少し、3億7千2百万円となりました。

◎所在地別

[日本]

高吸水性樹脂、アクリル酸およびアクリル酸エステルが堅調に推移し、また、電子情報材料等の機能性化学品も販売数量を伸ばしたことにより、売上高は前第1四半期に比べて14.4%増加し、505億5千9百万円となりました。

営業利益は、増販効果により設備の増強に伴う固定費の増加をカバーしたものの、基礎化学品の販売価格と原料価格の差がより一層縮小したため、前第1四半期に比べて20.8%減少し、33億1千9百万円となりました。

[欧州]

高吸水性樹脂の販売数量を伸ばしたことにより、売上高は前第1四半期に比べて39.7%増加し、101億2千1百万円となりました。

営業利益は、販売数量の拡大や販売価格の是正に努めたものの、原料価格が高騰したことや設備の増強に伴い固定費が増加したため、前第1四半期に比べて1億7千4百万円減少し、1千8百万円の赤字となりました。

[アジア]

アクリル酸およびアクリル酸エステルの販売数量は減少したものの、高吸水性樹脂の販売数量を伸ばしたことにより、売上高は前第1四半期に比べて0.7%増加し、73億2百万円となりました。

営業利益は、高吸水性樹脂の増販効果があったものの、アクリル酸およびアクリル酸エステルの販売数量が減少し、また、原料価格高騰の影響も受けたため、前第1四半期に比べて73.5%減少し、1億1千6百万円となりました。

[その他の地域]

高吸水性樹脂は、ほぼ前第1四半期並みに推移するなかで、コンクリート混和剤用ポリマーは販売数量を伸ばしたものの、洗剤原料の販売数量が減少したため、売上高は前第1四半期に比べて3.3%減少し、41億9千1百万円となりました。

営業利益は、原料価格高騰が一服したことや増販効果により、前第1四半期に比べて42.0%増加し、2億6千4百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前第1四半期末に比べて291億8千9百万円増加の3,268億3千4百万円となりました。主に、売上債権、たな卸資産および有形固定資産の増加によるものです。

負債は、前第1四半期末に比べて227億3千万円増加の1,479億2千万円となりました。主に、仕入債務や借入金の増加によるものです。

純資産は、前第1四半期末に比べて64億5千9百万円増加の1,789億1千4百万円となりました。主に、利益剰余金の増加によるものです。

自己資本比率は、前第1四半期末の56.6%から53.4%へと3.2ポイント減少しました。なお、1株当たり純資産額は前第1四半期末に比べて59.06円増加の953.71円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期の24億2千6百万円の収入に対し、75億2千3百万円の収入となりました。仕入債務や減価償却費の増加、法人税等の支払額が減少したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期の60億1千万円の支出に対し、44億8千2百万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期の59億5千2百万円の収入に対し、4千5百万円の収入となりました。借入による収入が減少したことや、自己株式の取得による支出が増加したことなどによるものです。

これらの結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて30億7千2百万円増加の200億6千3百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

前掲(2ページ)の通り、当第1四半期の業績は概ね順調に推移しており、現時点における中間期および通期の連結業績予想は、減価償却費の計上区分の変更を加味したものと変更はございません。

詳細につきましては、本日平成19年8月8日公表の「固定資産の残存簿価(取得価額の5%)に係る減価償却費の取扱い変更およびその変更に伴う業績予想の修正に関するお知らせ」を、ご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。また、引当金の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更および追加情報

① 会計処理方法の変更

当第1四半期より、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

② 追加情報

当第1四半期より、法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち、償却可能限度額まで減価償却が終了しているものについては、残存簿価を5年間で均等償却しております。

[添付資料]

1. 第1四半期連結財務諸表等

(1) 要約連結貸借対照表

(単位 金額：百万円 構成比：%)

科 目	前第1四半期末 (H18.6.30)		当第1四半期末 (H19.6.30)		増 減	前連結会計年度末 (H19.3.31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
[資産の部]							
<流動資産>	<128,786>	43.3	<150,021>	45.9	<21,235>	<145,444>	44.9
現金及び預金	22,424		20,228		△2,197	17,156	
受取手形及び売掛金	58,667		73,676		15,009	71,002	
たな卸資産	38,962		45,489		6,527	45,941	
その他	8,732		10,628		1,896	11,346	
<固定資産>	<168,859>	56.7	<176,813>	54.1	<7,954>	<178,230>	55.1
有形固定資産	109,270		116,560		7,290	117,647	
無形固定資産	2,425		1,899		△526	2,065	
投資その他の資産	57,164		58,354		1,190	58,518	
資産合計	297,645	100.0	326,834	100.0	29,189	323,675	100.0
[負債の部]							
<流動負債>	<82,177>	27.6	<105,206>	32.2	<23,029>	<99,785>	30.8
支払手形及び買掛金	39,375		55,932		16,557	54,459	
短期借入金	16,339		22,656		6,317	18,177	
1年以内に返済する 長期借入金	5,342		6,490		1,148	5,887	
その他	21,121		20,127		△993	21,261	
<固定負債>	<43,013>	14.5	<42,714>	13.1	<△299>	<44,522>	13.8
社 債	5,000		5,000		—	5,000	
長期借入金	26,156		26,765		609	28,668	
その他	11,857		10,950		△908	10,854	
負債合計	125,190	42.1	147,920	45.3	22,730	144,307	44.6
[純資産の部]							
<株主資本>	<156,417>	52.6	<159,863>	48.9	<3,446>	<160,367>	49.6
資本金	16,529		16,529		—	16,529	
資本剰余金	13,565		13,567		1	13,567	
利益剰余金	131,679		141,517		9,838	140,350	
自己株式	△5,357		△11,750		△6,394	△10,080	
<評価・換算差額等>	<11,905>	4.0	<14,746>	4.5	<2,842>	<14,687>	4.5
その他有価証券 評価差額金	9,451		11,058		1,607	10,686	
為替換算調整勘定	2,454		3,689		1,235	4,000	
<少数株主持分>	<4,134>	1.3	<4,305>	1.3	<172>	<4,314>	1.3
純資産合計	172,455	57.9	178,914	54.7	6,459	179,368	55.4
負債及び純資産合計	297,645	100.0	326,834	100.0	29,189	323,675	100.0

(2) 要約連結損益計算書

(単位 金額：百万円 百分比：%)

科 目	期 別	前第1四半期 (H18. 4. 1~H18. 6. 30)		当第1四半期 (H19. 4. 1~H19. 6. 30)		増 減	前連結会計年度 (H18. 4. 1~H19. 3. 31)	
		金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
売上高		63,029	100.0	72,173	100.0	9,145	266,513	100.0
売上原価		49,016	77.8	59,475	82.4	10,459	212,468	79.7
売上総利益		14,012	22.2	12,699	17.6	△1,314	54,045	20.3
販売費及び一般管理費		8,234	13.0	8,676	12.0	442	34,616	13.0
営業利益		5,779	9.2	4,023	5.6	△1,756	19,429	7.3
営業外収益		1,290	2.0	1,734	2.4	445	5,719	2.1
営業外費用		452	0.7	577	0.8	125	2,394	0.9
経常利益		6,617	10.5	5,180	7.2	△1,437	22,754	8.5
特別損失		—	—	—	—	—	452	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益		6,617	10.5	5,180	7.2	△1,437	22,302	8.4
法人税等		2,738	4.3	2,173	3.0	△566	8,136	3.1
少数株主利益		55	0.1	36	0.1	△19	178	0.1
四半期(当期)純利益		3,824	6.1	2,972	4.1	△852	13,988	5.2

(3) 要約連結株主資本等変動計算書

前第1四半期(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	16,529	13,565	125,684	△5,346	150,432	12,259	1,939	14,199	4,073	168,704
当四半期変動額										
剰余金の配当	—	—	△1,599	—	△1,599	—	—	—	—	△1,599
四半期純利益	—	—	3,824	—	3,824	—	—	—	—	3,824
自己株式の取得	—	—	—	△10	△10	—	—	—	—	△10
持分法適用関連会社 の増加	—	—	3,771	—	3,771	—	—	—	—	3,771
株主資本以外の項目の 当四半期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△2,808	515	△2,294	60	△2,234
当四半期変動額合計	—	—	5,995	△10	5,985	△2,808	515	△2,294	60	3,751
平成18年6月30日残高	16,529	13,565	131,679	△5,357	156,417	9,451	2,454	11,905	4,134	172,455

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	16,529	13,567	140,350	△10,080	160,367	10,686	4,000	14,687	4,314	179,368
当四半期変動額										
剰余金の配当	—	—	△1,477	—	△1,477	—	—	—	—	△1,477
四半期純利益	—	—	2,972	—	2,972	—	—	—	—	2,972
自己株式の取得	—	—	—	△1,670	△1,670	—	—	—	—	△1,670
持分法適用関連会社 の減少	—	—	△329	—	△329	—	—	—	—	△329
株主資本以外の項目の 当四半期変動額(純額)	—	—	—	—	—	371	△312	60	△9	51
当四半期変動額合計	—	—	1,166	△1,670	△504	371	△312	60	△9	△453
平成19年6月30日残高	16,529	13,567	141,517	△11,750	159,863	11,058	3,689	14,746	4,305	178,914

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	16,529	13,565	125,684	△5,346	150,432	12,259	1,939	14,199	4,073	168,704
連結会計年度中の 変動額										
剰余金の配当	—	—	△3,092	—	△3,092	—	—	—	—	△3,092
当期純利益	—	—	13,988	—	13,988	—	—	—	—	13,988
自己株式の取得	—	—	—	△4,737	△4,737	—	—	—	—	△4,737
自己株式の処分	—	1	—	4	5	—	—	—	—	5
持分法適用関連会社 の増加	—	—	3,771	—	3,771	—	—	—	—	3,771
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額(純額)	—	—	—	—	—	△1,573	2,061	488	241	729
連結会計年度中の 変動額合計	—	1	14,667	△4,733	9,935	△1,573	2,061	488	241	10,664
平成19年3月31日残高	16,529	13,567	140,350	△10,080	160,367	10,686	4,000	14,687	4,314	179,368

(4) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期 (H18. 4. 1~H18. 6. 30)	当第1四半期 (H19. 4. 1~H19. 6. 30)	増 減	前連結会計年度 (H18. 4. 1~H19. 3. 31)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー					
税金等調整前四半期（当期）純利益		6,617	5,180	△1,437	22,302
減 価 償 却 費		2,474	4,128	1,654	12,951
売上債権の減少額又は増加額（△）		△1,186	△2,706	△1,520	△13,146
たな卸資産の減少額又は増加額（△）		△187	440	628	△6,666
仕入債務の増加額又は減少額（△）		△885	1,530	2,415	13,492
そ の 他		△298	1,619	1,917	△5,461
小 計		6,535	10,191	3,657	23,473
法人税等の支払額		△5,130	△3,540	1,590	△8,396
そ の 他		1,021	872	△149	1,011
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,426	7,523	5,097	16,087
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー					
有形固定資産の取得による支出		△5,775	△4,677	1,098	△22,527
出資金の出資等による支出		△209	△117	92	△413
貸付けによる支出		△50	—	50	△110
貸付金の回収による収入		290	276	△14	1,191
そ の 他		△265	36	301	△1,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		△6,010	△4,482	1,528	△23,109
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入金の純増減額		4,817	4,502	△314	6,546
長期借入れによる収入		4,100	200	△3,900	10,700
長期借入金の返済による支出		△1,340	△1,494	△154	△5,370
配当金の支払額		△1,599	△1,477	123	△3,092
自己株式の取得による支出		△10	△1,670	△1,660	△4,737
そ の 他		△15	△17	△2	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー		5,952	45	△5,908	4,037
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		△15	△14	1	119
V. 現金及び現金同等物の増減額		2,353	3,072	719	△2,865
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		19,856	16,991	△2,865	19,856
VII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		22,209	20,063	△2,146	16,991

2. セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(平成18年4月1日～平成18年6月30日) (単位:百万円)

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	24,332	31,842	6,856	63,029	—	63,029
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,384	148	76	4,608	(4,608)	—
計	28,716	31,989	6,931	67,636	(4,608)	63,029
営業費用	26,620	29,004	6,421	62,045	(4,795)	57,250
営業利益	2,096	2,985	510	5,591	188	5,779

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日) (単位:百万円)

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	26,365	38,146	7,662	72,173	—	72,173
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,197	307	110	7,614	(7,614)	—
計	33,562	38,453	7,772	79,787	(7,614)	72,173
営業費用	32,961	35,424	7,400	75,785	(7,634)	68,151
営業利益	601	3,029	372	4,003	20	4,023

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日) (単位:百万円)

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	97,665	141,321	27,526	266,513	—	266,513
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,672	854	1,800	24,326	(24,326)	—
計	119,337	142,175	29,326	290,839	(24,326)	266,513
営業費用	113,938	131,337	26,344	271,620	(24,536)	247,084
営業利益	5,399	10,838	2,982	19,219	210	19,429

(注) 1. 事業区分は、事業の種類・性質の類似性等を勘案して決定しております。

2. 各事業区分の主な製品

- (1)基礎化学品事業 アクリル酸、アクリル酸エステル、酸化エチレン、エチレングリコール、エタノールアミン、高級アルコール
- (2)機能性化学品事業 高吸水性樹脂、医薬中間原料、コンクリート混和剤用ポリマー、電子情報材料、よう素、無水マレイン酸、不飽和ポリエステル樹脂、粘接着剤・塗料用樹脂、樹脂成形品、粘着加工品
- (3)環境・触媒事業 自動車触媒、脱硝触媒、ダイオキシン類分解触媒、プロセス触媒、排ガス処理装置

(2) 所在地別セグメント情報

前第1四半期(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	44,195	7,246	7,254	4,335	63,029	—	63,029
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,243	15	7	8	5,273	(5,273)	—
計	49,438	7,261	7,261	4,343	68,302	(5,273)	63,029
営業費用	45,246	7,105	6,821	4,157	63,329	(6,079)	57,250
営業利益	4,192	156	440	186	4,973	806	5,779

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	50,559	10,121	7,302	4,191	72,173	—	72,173
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	8,230	18	801	194	9,243	(9,243)	—
計	58,789	10,139	8,104	4,385	81,417	(9,243)	72,173
営業費用	55,470	10,157	7,987	4,122	77,736	(9,585)	68,151
営業利益又は営業損失(△)	3,319	△18	116	264	3,681	342	4,023

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	186,288	32,521	30,194	17,510	266,513	—	266,513
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	21,979	71	1,219	493	23,761	(23,761)	—
計	208,267	32,592	31,413	18,002	290,274	(23,761)	266,513
営業費用	190,966	32,522	30,549	18,287	272,325	(25,241)	247,084
営業利益又は営業損失(△)	17,301	70	864	△285	17,949	1,480	19,429

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州 ……………ベルギー
 (2) アジア ……………シンガポール、インドネシア、中国
 (3) その他の地域 北米…………米国

(3) 海外売上高

前第1四半期(平成18年4月1日～平成18年6月30日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	12,620	9,179	5,809	2,018	29,626
II 連結売上高					63,029
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	20.0%	14.6%	9.2%	3.2%	47.0%

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	13,933	11,943	6,393	3,870	36,139
II 連結売上高					72,173
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	19.3%	16.5%	8.9%	5.4%	50.1%

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	51,847	41,654	23,184	9,628	126,313
II 連結売上高					266,513
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	19.5%	15.6%	8.7%	3.6%	47.4%

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア 東アジア及び東南アジア諸国
 (2) 欧州 ヨーロッパ諸国
 (3) 北米 北アメリカ諸国
 (4) その他の地域 アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。